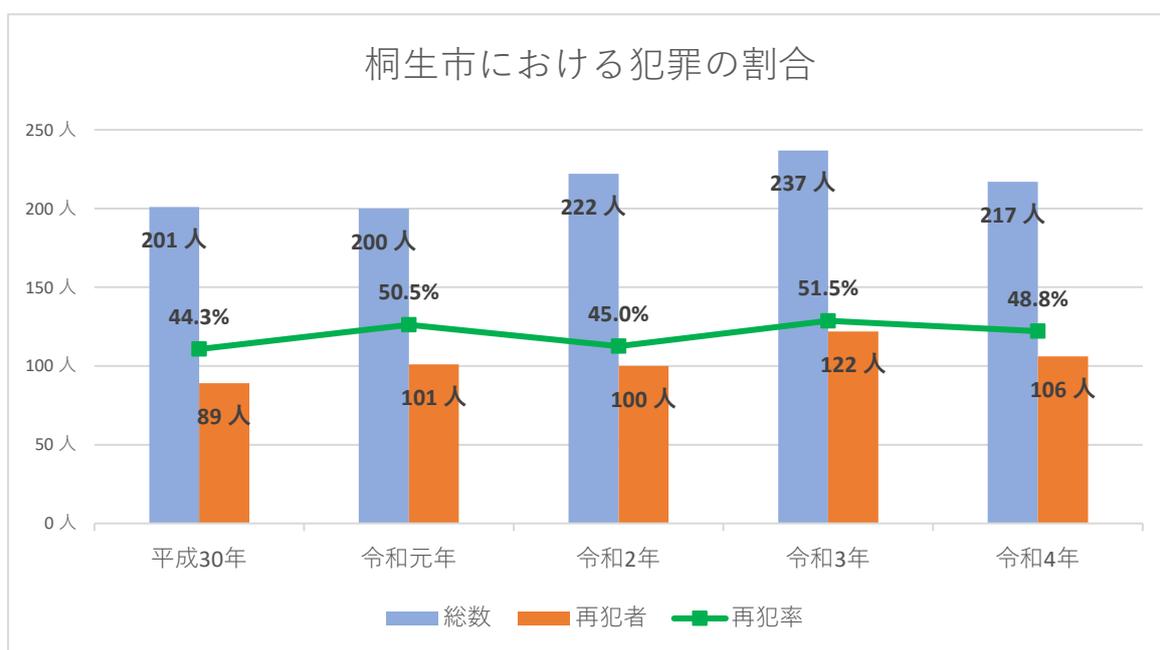


## 第2章 計画策定の背景

### 1. 刑法犯の検挙人数と再犯率

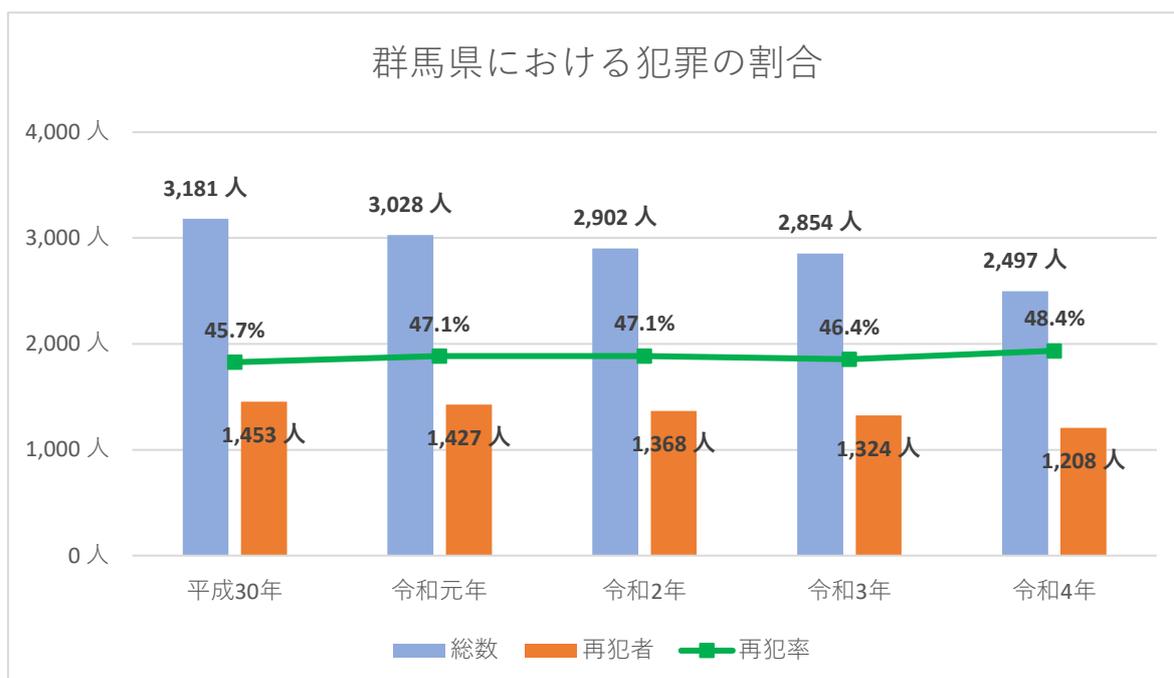
桐生市内における刑法犯の検挙人数の総数を前年からの増減の推移でみると、令和元（2019）年は1人減少、令和2（2020）年は22人増加、令和3（2021）年は15人増加、令和4（2022）年は20人減少となっています。再犯者数の前年からの増減の推移は、令和元（2019）年は12人増加、令和2（2020）年は1人減少、令和3（2021）年は22人増加、令和4（2022）年は16人減少となっています。再犯率（総数における再犯者数の割合）の前年からの増減の推移は、令和元（2019）年は6.2ポイント増加、令和2（2020）年は5.5ポイント減少、令和3（2021）年は6.5ポイント増加、令和4（2022）年は2.7ポイント減少となっています。このことから、検挙人数は令和元（2019）年から令和2（2020）、3（2021）年と立て続けに増加をしており、令和4（2022）年には減少しています。再犯率は45パーセントから51パーセントまでの間を前後しています。



（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

群馬県における刑法犯の検挙人数の総数を前年からの増減の推移でみると、令和元（2019）年は153人減少、令和2（2020）年は126人減少、令和3（2021）年は48人減少、令和4（2022）年は357人減少となっています。再犯者数の前年からの増減の推移は、令和元（2019）年は26人減少、令和2（2020）年は59人減少、令和3（2021）年は44人減少、令和4（2022）年は116人減少となっています。再犯率（総数における再犯者数の割合）の前年からの増減の推移は、令和元（2019）年は1.4ポイント増加、令和2（2020）年は増減なし、令和3（2021）年は0.7ポイント減少、令和4（2022）年は2.0ポイント増加となっています。このことから、検挙人数は毎年減少しており、再犯率は45パーセントから48パーセントまでの間を前後しています。

令和4（2022）年の再犯率を桐生市と群馬県で比較すると、桐生市の再犯率（48.8パーセント）から群馬県の再犯率（48.4パーセント）を引いた差は0.4ポイントとなっており、桐生市と群馬県の間で大きな差は無いことが分かります。

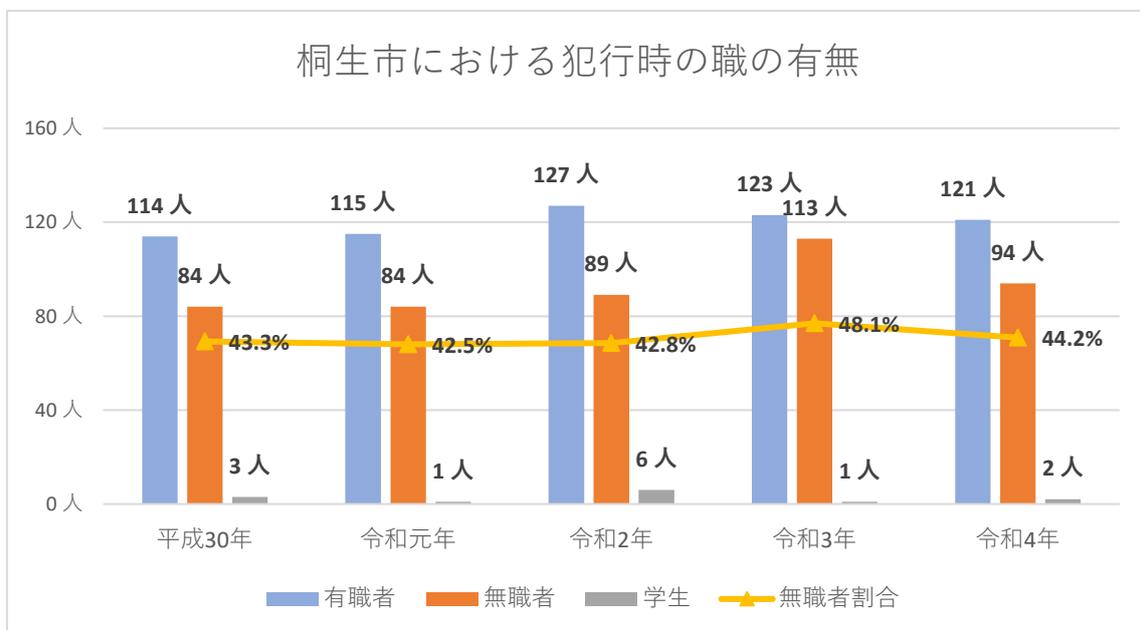


（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

## 2.犯行時における職の有無

次に、犯行時における職の有無についてみていきます。

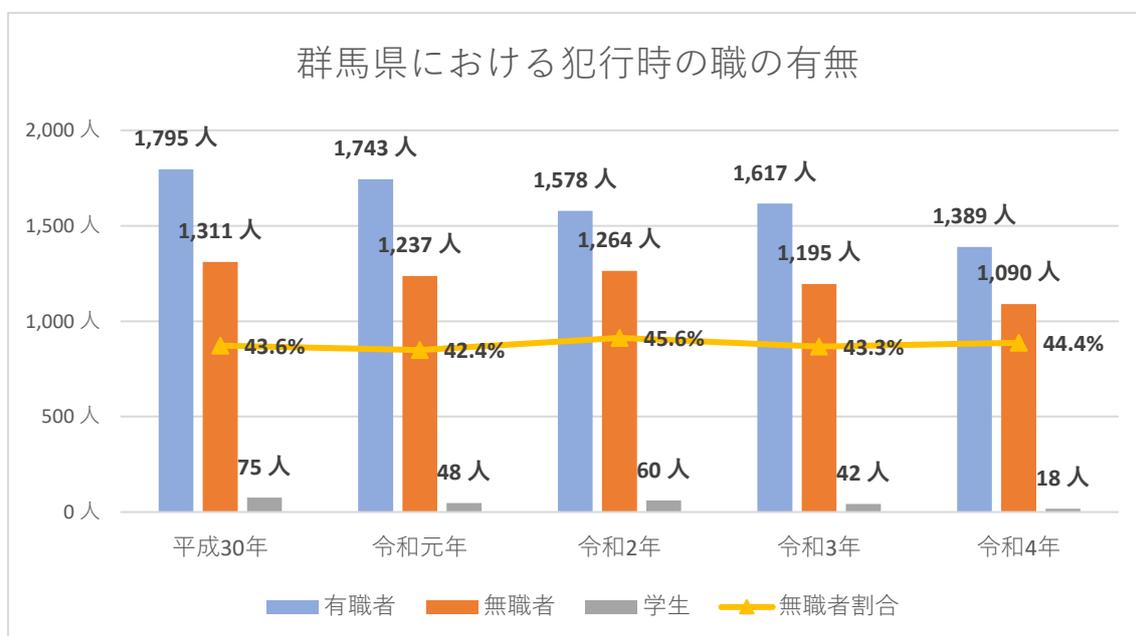
桐生市における刑法犯の検挙人員における有職者数を前年からの増減の推移で見ると、令和元（2019）年は1人増加、令和2（2020）年は12人増加、令和3（2021）年は4人減少、令和4（2022）年は2人減少となっています。無職者数の前年からの増減の推移は、令和元（2019）年は増減なし、令和2（2020）年は5人増加、令和3（2021）年は24人増加、令和4（2022）年は19人減少となっています。平成30（2018）年から5年間の犯行時に無職者であった人の割合は、42パーセントから48パーセントまでの間を推移しています。桐生市では、全体を通じて人数の増減があるものの、無職者の割合が一定数を推移しております。



（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

群馬県の刑法犯の検挙人員における有職者数を前年からの増減の推移でみると、令和元（2019）年は52人減少、令和2（2020）年は165人減少、令和3（2021）年は39人増加、令和4（2022）年は228人減少となっています。無職者数の前年からの増減の推移は、令和元（2019）年は74人減少、令和2（2020）年は27人増加、令和3（2021）年は69人減少、令和4（2022）年は105人減少となっています。平成30（2018）年から5年間の犯行時に無職者であった人の割合は、42パーセントから45パーセントまでの間を推移しています。群馬県では、全体を通じて人数の増減があるものの、無職者の割合が一定数を推移しております。

桐生市、群馬県ともに検挙人員のうち4割程度の人が犯行時に無職であったことが分かります。



（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

### 3.年代別刑法犯数

桐生市の年代別刑法犯数の推移をみていきます。次の表をみると、刑法犯数の年代別人数は、平成30（2018）年と令和4（2022）年を比較すると、「20～29歳」が1人減少、「30～39歳」が8人増加、「40～49歳」が17人減少、「50～59歳」が増減なし、「60～64歳」が9名増加、「65歳以上」が17人増加しています。「65歳以上」の人数が徐々に増えていることが分かります。

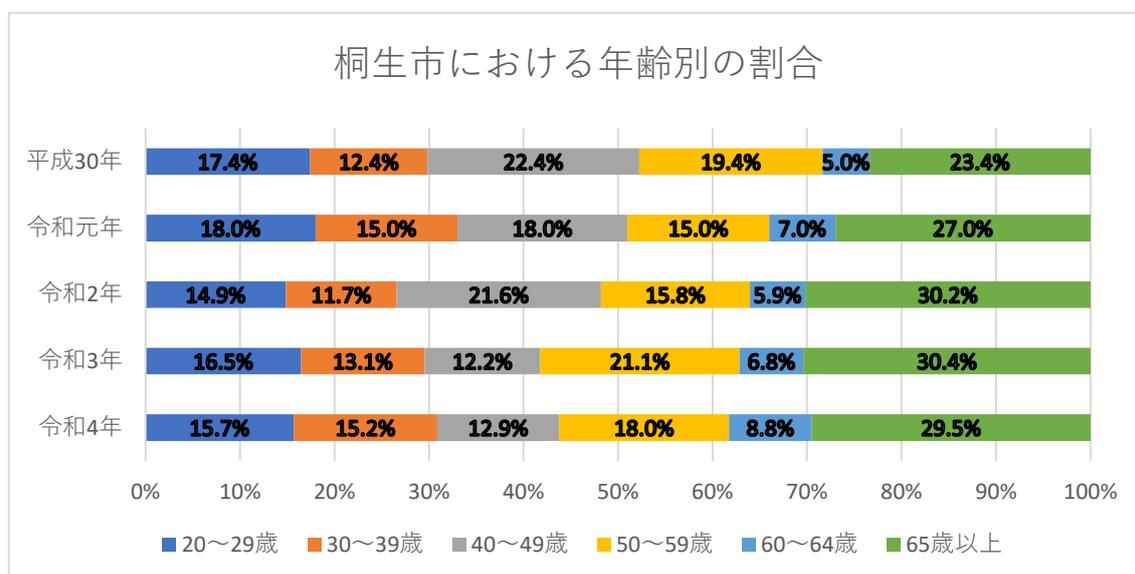
桐生市における年代別刑法犯数

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平成30年	35人	25人	45人	39人	10人	47人
令和元年	36人	30人	36人	30人	14人	54人
令和2年	33人	26人	48人	35人	13人	67人
令和3年	39人	31人	29人	50人	16人	72人
令和4年	34人	33人	28人	39人	19人	64人

（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

桐生市の刑法犯数を年代別の割合で見えていきます。次のグラフでは、刑法犯数の年代別の割合は、平成30（2018）年と令和4（2022）年を比べると、「20～29歳」が1.7ポイントの減少、「30～39歳」が2.8ポイント増加、「40～49歳」が9.5ポイント減少、「50～59歳」が1.4ポイント減少、「60～64歳」が3.8ポイント増加、「65歳以上」が6.1ポイント増加しています。

桐生市の刑法犯数は、60歳以上の割合が高くなってきていることが分かります。



（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

群馬県の年代別刑法犯数の推移を見ていきます。次の表をみると、刑法犯数の年代ごとの人数は、いずれも減少傾向となっています。平成30（2018）年と令和4（2022）年と比べると、「20～29歳」が165人減少、「30～39歳」が103人減少、「40～49歳」が183人減少、「50～59歳」が63人減少、「60～64歳」が55人減少、「65歳以上」が115人減少となっています。

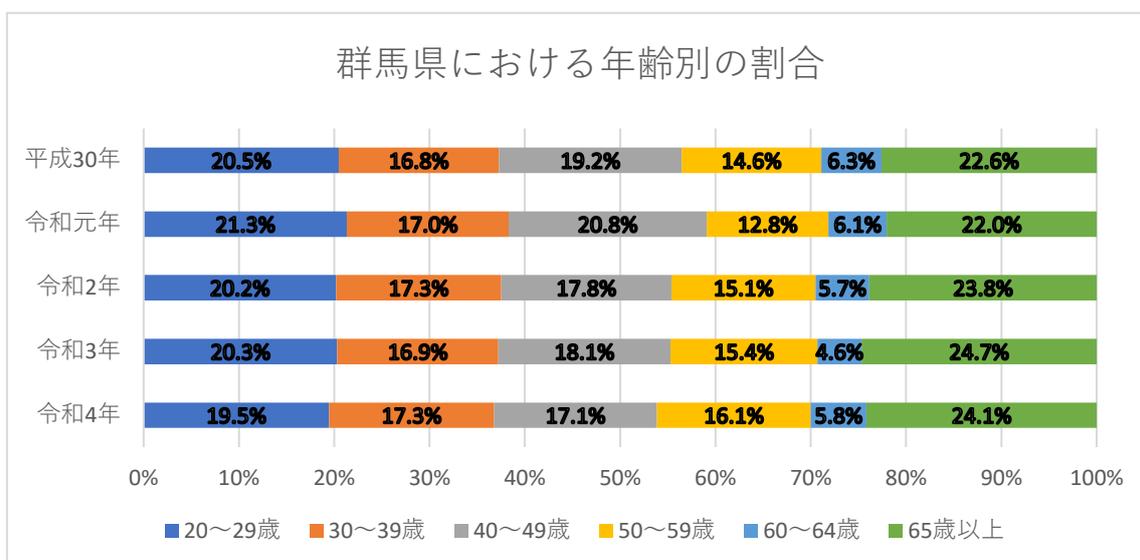
#### 群馬県における年代別刑法犯数

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平成30年	651人	535人	610人	466人	201人	718人
令和元年	646人	514人	629人	387人	185人	667人
令和2年	586人	503人	518人	439人	164人	692人
令和3年	580人	482人	516人	440人	132人	704人
令和4年	486人	432人	427人	403人	146人	603人

（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）

群馬県の年代別刑法犯数を見ていきます。次のグラフを見ると、刑法犯数の年代ごとの割合は、平成30（2018）年と令和4（2022）年を比べると、「20～29歳」が1.0ポイントの減少、「30～39歳」が0.5ポイント増加、「40～49歳」が2.1ポイント減少、「50～59歳」が1.5ポイント増加、「60～64歳」が0.5ポイント減少、「65歳以上」が1.5ポイント増加しています。

群馬県の刑法犯数は、年代別で大きな変化は見られないこと分かります。



（法務省矯正局提供データを基に桐生市作成）